

# 学生提案成果報告⑪

## オープンデータを用いたSDGsローカル指標可視化サイト「local-SDGs.com」の構築

宇都宮共和大学 シティライフ学部 高丸ゼミ  
 河野弘暉 (かわのひろき)、猪瀬智也、荻野竜太、  
 成田耕信、大柿周平、松本拓馬、河野遼風、  
 五百部要、岡野レイリ、大吉栄行、三上和龍、  
 山口絵都、半田菜月、新田勇斗、奈良あさひ

【概要】持続可能な開発目標 (SDGs) に示された17のゴール、169のターゲットに基づいて、地方自治体が持続可能で豊かなまちづくりを実現するために、169のターゲットに対するローカル指標を可視化し、定量的な評価をする必要がある。本発表では、自治体が公開しているオープンデータを利用して、私たちが構築しているSDGsローカル指標可視化サイト「local-SDGs.com」について報告する。

【楠木を元気にするには】宇都宮市が「SDGs未来都市」に選定されるなど、県内の自治体においてSDGsの取り組みが盛んになりつつある。SDGsの理念に沿ったまちづくりは経済・社会・環境における新たな価値を創出するといわれている。データに基づいてSDGsの現状を総合的に可視化することで、定量的かつ客観的な形で、持続可能なまちづくりに貢献することができると考える。

### 1. はじめに

現在、地方自治体がSDGsの達成に向けた取り組み (自治体SDGs) が盛んになってきている。持続可能なまちづくりのための中長期的な計画や施策をSDGsの枠組みで捉えることで、地方創成を試みる取り組みである。内閣府は優れた取り組みを提案している自治体を「SDGs未来都市」として選定している。栃木県では宇都宮市が2018年にこの「SDGs未来都市」に選定された。宇都宮市が公開している「宇都宮市SDGs未来都市計画」では、優先的に取り組むテーマについて、下図のように数値データに基づいて具体的な目標を定めている。

ゴール、ターゲット番号	KPI
4.3 指標: 学習活動をしている市民の割合	2022年: 43.2%
4.7 現在: 2016年 38.4%	2022年: 43.2%
17.17 指標: 「まちづくり活動に参加している」市民の割合	2022年: 25%
	現在: —

図1: 宇都宮市が掲げるSDGs目標の例 (「宇都宮市SDGs未来都市計画」より引用)

先進的な取り組みをしている宇都宮市においても、一部のターゲットに対する数値目標を定めているだけで、すべてのターゲットに対する現状や目標を網羅的に検討しているわけではない。SDGsに資する種々の目標を定める前提として、すべてのターゲットについて自治体の現状を定量的に評価することは重要である。しかし現在のところ、これを具体的に実施している自治体はない。本研究では、地方自治体におけるSDGsの現状を、オープンデータを用いて総合的に可視化することを検討する。これは自治体SDGsにおける新規性の高い取り組みであるといえる。

内閣府自治体SDGs推進評価・調査検討会が公開している「地方創生SDGsローカル指標リスト(案)」には、自治体SDGs向けのインジケータ (ローカルインジケータ) の案が提示されている。私たちはこれを参考にしながら、宇都宮市が公開しているオープンデータの中から、各ターゲットの状況を評価できるデータを探し、すべて整理した。また、オープンデータ以外でも、各

ターゲットの状況を測りうる数値データが公開されていないかを情報検索を用いて探索した。調査の結果、169のターゲットの内、オープンデータから現状を明らかにできるものは26個、オープンデータ以外で利用可能なデータは13個見つかった。ターゲットの中には海洋問題など宇都宮市に当てはまらない内容のため、データ自体が存在しないケースもあると考えられるが、それを考慮しても現在の公開状況は不十分であるといえる。

### 2. 情報公開ウェブサイトの構築

宇都宮市における自治体SDGsの現状を明らかにするために、収集したオープンデータ等の在処やオープンデータに基づいたグラフ (可視化資料) を公開するサイトを構築することとした。レンタルWebサーバを契約し、ドメイン名として「local-sdgs.com」を取得した。CMSとしてWordPress 5.2.3をインストールしウェブサイトを運用する。サイトの構成は下図のとおりである。

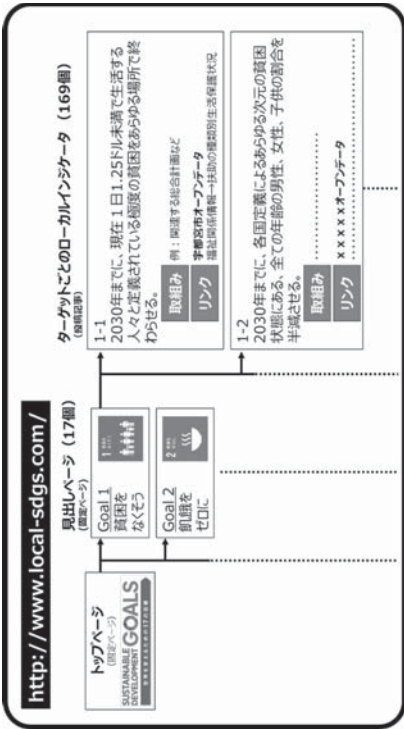


図2 local-SDGs.comのサイト構成図

「local-SDGs.com」では、トップページおよび17のゴールの見出しページを固定ページで作成し、17のゴールの下にある169のターゲットごとに投稿 (記事) を作成する。このターゲットごとの投稿に、自治体における施策や評価指標 (ローカルインジケータ) となるオープンデータへのリンク、オープンデータから作成したグラフなどを追加する。

### 3. まとめ

本研究では、自治体SDGsの現状を総合的に可視化するウェブサイトを構築し、その一部を実際に構築した。調査の結果、SDGsのターゲットを示す指標となるデータが十分に公開されていない現状が明らかとなった。今後は、SDGsの現状把握にどのようなデータが必要であるかを明らかにしていきたい。また自治体には、SDGsに関連するデータを幅広くオープンデータとして公開することを求めている。自治体が公開するデータに基づいて、私たちが構築するサイトを通じて、市民にSDGsへの取り組みに関心を持ってもらい、持続可能な地域づくりに貢献していきたい。

### 【参考文献・ウェブサイト】

- 白田史編(2019)『SDGsの実践 自治体・地域活性化編』事業構想大学院大学出版部
- 地方創生SDGsローカル指標リスト2019年4月改訂版 (PDF形式: 1.552KB)  
<https://www.kantei.go.jp/singou/taisaku/kankyo/kaigi/t300wg1/shiryo1.pdf>
- 宇都宮市SDGs未来都市計画 (PDF 2.1MB)  
[https://www.city.utsunomiya Tochigi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_001/018/743/2019mraitoshikakaku.pdf](https://www.city.utsunomiya Tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_001/018/743/2019mraitoshikakaku.pdf)